



第95回定時株主総会の概略

1. 開催日時 2022年6月23日(木)午前10時01分
2. 場所 朝日放送グループホールディングス株式会社テレビAスタジオ
3. 所要時間 46分
4. 出席株主数 95名
5. 事前質問状 0通
6. 質問株主数 7名
7. 質問 9問(事前にWEBで寄せられた質問4つを含む)
8. 議案について4つの議案が全て賛成多数で承認可決されました。  
第1号議案「剰余金の処分の件」  
第2号議案「定款一部変更の件」  
第3号議案「取締役(監査等委員である取締役を除く。)8名選任の件」  
第4号議案「監査等委員である取締役4名選任の件」

<主な質問及びその回答要旨>

Q1. 株価対策及び優待制度について

A1. 株価は基本的にマーケットが決めるものではあるが株価向上のため、成長戦略を進めていくことが株主の皆様のご期待にお応えすることだと考えている。また、株主優待制度も含めた株主の方に当社をよりよくご理解いただくための施策については、今後も引き続き検討していく。

Q2. 株主総会を配信で参加することはできないか?

A2. 株主様に総会にご参加いただくことは大変重要なことであり、株主総会を配信して視聴していただけるよう、今後の課題として引き続き検討していく。

Q3. テレビマスターの設備更新について

A3. テレビマスターは、放送局にとって心臓部分ともいえる非常に重要な設備である。今後も通信と放送の融合などの大きな変革が想定されるので、計画的かつ適切な投資に取り組んでいく。

Q4. 『アタック25』の放送終了が株主総会翌日に新聞などで報道されたことについて

A4. 当社制作にかかる新番組や既存の番組の終了等については、定例の報道機関向けの会見などを通じて、視聴者の皆様向けに情報提供に努めていく。また、報道機関への情報提供と並行して、当社のホームページ等でこれらの会見内容について公表しているので、そちらもご参照いただきたい。

Q5. 2018年春にラジオ社のスタッフ5名が解雇された件の解雇の理由を教えてください。

A5. 昨年、解決済みの案件である。個別の案件について、この場で回答することは差し控える。

Q6. 亀山テレビ朝日社長本人の不適切行動に伴い、当社取締役を辞任したが、今回テレビ朝日から迎える取締役の選任にあたっては適切な調査をしたのか？

A6. 篠塚候補は取締役基本規則、選定に関する内規に従って、経験・知識・判断力があるものと審査し、指名報酬委員会で候補として決定した。

Q7. 内部監査の活動について教えてください。BPO審議は含まれているのか。

A7. 内部監査はグループ全体の業務について幾つかのテーマをもって、ヒアリングや資料の提出を受けながら、監査を実施している。なお、BPOは内部監査とは別の部門で対応している。

Q8. 放送事業について、ゴールデン帯は縮小傾向ではないか？今後の戦略は？

A8. ゴールデン帯で火曜プライムという枠がある。この枠において今年4月からテレビ朝日と協力して2時間、3時間枠のスペシャル番組で視聴率獲得を目指している。ゴールデン帯の縮小ということではなく、さらなるヒット番組を作るよう尽力していく。

Q9. 決算状況について、ホールディングス単独、個別決算では当期純利益がマイナス60数億円となっている。この内容は？

A9. 税法上の都合で、ホールディングス単独での課税所得が赤字となり、繰り延べ税金資産の取り崩しが必要となったものにすぎず、連結としては黒字である。

なお、第95回定時株主総会における議決権行使結果については、6月24日（金）、EDINETを通じて金融庁に開示する他、当社ホームページにおいても開示しております。

以上